

「餅つき」

おはようございます。今日は冬至です。冬至は、一年でいちばん太陽が出ている時間が短く、夜が長い日です。かぼちゃを食べたり、ゆず湯に入ったりして、体をいたわりましょう。

さて、土曜日に玉堤小学校で餅つきが行われました。玉堤コミュニティの豊田美智子さんや PTA の方々、おやじの会の皆さんのが中心となって実施してくださいました。

昔は、お正月前になると、玉堤でも餅つきが行われていました。今回は、そんな昔の風景をよみがえらせていただきました。ここ玉堤には、昔、田んぼがたくさんありました。学校の北側を流れる丸子川は、六郷用水とも呼ばれています。狛江に取水口があり、大田区まで続く全長 23 キロメートルの用水です。徳川家康の命を受けて、小泉次太夫を中心につくられました。喜多見には、次太夫堀公園がありますね。

そのおかげで田んぼが増え、お米をたくさん作ることができるようになったのです。玉堤でとれたお米は、天皇陛下に献上されるほど、おいしく、品質のよいものだったそうです。「豊田」という名前は、「豊かな田んぼ」という意味から、徳川家康からいただいたと言われています。

今年は、つきたてのお餅をいただくことができました。とてもおいしかったです。鏡餅が、図書室前の昇降口に飾られています。来年も、よい年になるといいですね。